令和４年第１回定例会 施政方針（要旨）

令和４年第１回市議会定例会の開催に当たりまして、議員各位におかれましては、ご多用の中ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

また平素から、市政の発展、市民福祉の向上にご尽力をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。

はじめに、現在、猛威を振るっております、新型コロナウイルス感染症に関しまして、議員の皆様をはじめ、市民の皆様には、長期間に渡り、感染症の拡大防止にご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

また、医療や介護の現場で日々奮闘されている従事者の皆様や、市民生活の維持のために日々働いている全ての皆様に、深く敬意を表する次第でございます。

中国の湖北省で、最初に新型コロナウイルスの感染者が確認されたとされる日から、およそ２年と２カ月あまりが経ちましたが、世界では４億人以上が感染し、死者数は５８０万人を超えたとのことでございます。

日本国内におきましては、現在、第６波を迎え、これまでとは比べ物にならないほどに感染が拡大し、千葉県を含む３６都道府県にまん延防止等重点措置が適用されており、新規感染者数は依然として、高水準で推移するなど、予断を許さない状況でございます。

市内におきましても、引き続き、最大限の警戒が必要であり、ワクチンの３回目接種を加速することが求められております。

本市では、２回目接種を完了した人へ、昨年１１月２９日から、順次、接種券などを送付しておりますが、３月以降の市の集団接種においては、１８歳から６４歳の皆様についても、前倒しとし、６カ月以上経過した人を対象に、３回目接種の予約を受け付けてまいります。

また、５歳から１１歳のお子様への接種につきましても、３月から接種を開始できるよう、準備を進めており、今後も接種を希望するすべての皆様が、円滑に接種できるよ

う、全力で取り組んでまいります。

それでは、私の令和４年の市政運営に対する所信の一端をここに申し上げ、議員各位をはじめ、広く市民の皆様のご理解とご賛同を賜りたいと存じます。

まず、国外の社会情勢に着目いたしますと、ウクライナ国境周辺地域で国際的に不安定な状況が懸念される中、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んだことで、世界的に経済活動が再開し、原油の需要が一気に膨らんだことなどから、エネルギー価格の高騰が続いております。国内では、国において、ガソリンや灯油の価格高騰を抑える対策を行っておりますが、エネルギー価格の高騰によりまして、物価の上昇など、市民生活に直接影響を与える事態となっております。

続いて、国内の社会経済情勢に着目いたしますと、内閣府が先月、公表した月例経済報告では、国内景気の基調判断を「新型コロナウイルス感染症よる厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる。」として、各種政策の効果や海外経済の改善に期待する一方で、先行きについては、「感染症による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。」との見方を示しております。

こうした状況の中、印西市におきましては、歳入面では、千葉ニュータウンへの企業の進出や人口増等に伴い、市税の増加が見込まれる一方で、令和３年度は交付となった普通交付税については、令和４年度は再び不交付となる見込みであることから、財政運営に必要な一般財源総額の確保が課題となっております。

また、歳出面では、超高齢社会のもと、福祉ニーズ等の増大に伴う扶助費などの社会保障関連経費や、小･中学校、道路などの公共施設の維持管理費及び老朽化に伴う改修費、さらには、感染症対策などの新たな経費の増加が見込まれており、経常収支比率の増加による財政の硬直化が懸念されております。

こうしたことから、貴重な財源をより一層、効率的かつ効果的に活用しながら、市民ニーズを的確に捉え、事業の選択と集中が今後も重要になってくると考えているところ

でございます。

次に、令和４年度の市政運営の基本姿勢について申し上げます。

令和４年度は、ワクチン接種、各種給付金の支給や経済対策を柱とする新型コロナウイルス感染症対策を最優先課題と捉えつつ、総合計画に掲げる将来都市像「住みよさ実感都市　ずっと　このまち　いんざいで」の計画期間内での実現に向け、着実に実施してまいりたいと考えているところでございます。

そのため、令和４年度当初予算編成に当たりましては、総合計画の前期５年間の計画となる第１次基本計画の２年目に当たることから、各事業の実施効果を十分検証するとともに、創意工夫を凝らし、効率的かつ実効性の高い施策の構築に努め、総体的には市民サービスの向上に資するよう、予算を編成いたしました。

一般会計、特別会計、水道事業会計及び下水道事業会計を合わせた令和４年度当初予算の規模は、対前年度比９．８パーセント増の６６７億５千７２１万１千円でございます。

新年度予算の詳細につきましては、予算審議の際にご説明申し上げます。

それでは、令和４年度の主要事業の概要につきまして、基本構想の５つの分野の政策の大綱に沿って申し上げます。

はじめに、政策１の「誰もが安心して健康で明るく暮らせるまちづくり」について申し上げます。

まず、いまだ終息の見えない新型コロナウイルス感染症への対策といたしましては、引き続き、ワクチン接種等を継続するとともに、経済対策、生活支援に備えて、適時、迅速に対応してまいります。

次に、防災対策といたしましては、暮らしの安全安心を実現するため、災害用マンホールトイレの設置等により避難所における生活環境の改善と衛生管理を推進し、災害発生時における飲料水及び生活用水を確保するため計画的に災害用井戸を整備いたします。

次に、防犯対策といたしましては、引き続き、市内の道路における青色回転灯装着車両による市内巡回や防犯啓発活動を行い、市民の防犯意識の高揚を図るなど、防犯対策の充実を図ってまいります。

また、健康福祉関連といたしましては、旧永治小学校跡地に高齢者就労支援センターを整備し、高齢者の生きがいの充実や社会参加を促進するとともに、健康ちょきん運動の更なる拡大等、介護予防事業を進めながら、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、地域包括ケアシステムを推進し、各種生活支援サービスを実施してまいります。

さらに、生活困窮者等の自立支援事業などにより、多様化する地域福祉の課題に取組んでまいります。

次に、政策２の「子どもたちの未来を育み誰もが心に豊かさをもたらすまちづくり」について申し上げます。

喫緊の課題となっている待機児童の解消を図るため、保育園については、民間保育園２園の開設支援として、事業者に対し補助金を交付し、施設整備を促進するとともに、引き続き、保育士等の確保を図るための補助を実施いたします。

併せて、学童クラブについても、牧の原第２学童クラブの新設工事に着手し、令和５年度開所いたします。

また、子どもの保健対策の充実及び保護者の経済的軽減を図るため、中学３年生までを対象とした「子ども医療費助成事業」及び、高校生等を対象とした「高校生等医療費助成事業」により、医療費や調剤費等の助成を引き続き実施いたします。

さらに、市内の年少人口が急増する中、子どもたちが安全で安心できる学校生活を送り健やかに成長できるよう、原小学校及び滝野中学校の増築工事を行うとともに、高花小学校については、令和４年度から２か年で保全改修工事を実施してまいります。

さらに、文化財保護調査事業といたしましては、市内の重要な遺跡や史跡、有形・無形の文化財を後世に継承していくため、地域の歴史や文化を広く公開するなど、保護・

活用を充実してまいります。

次に、政策３の「地理的優位性をいかした活力あふれるまちづくり」について申し上げます。

まず、農業振興策といたしましては、新たに、農業者支援金給付事業を実施し、新型コロナウイルス感染症により減収となった農業者を支援してまいります。このほか、農地の基盤整備事業に対して支援を行い、市内農産物の生産性の向上を図るとともに、担い手の高齢化や後継者不足に対応するため、新規就農者に対する資金及び給付金の交付等により経営の安定化を図り、青年就農者の増加を促進してまいります。さらに、印西産農産物の消費拡大を図る取り組みを行い、地産地消を推進してまいります。

次に、商工業の振興策につきましては、商工会が行う商工業者支援や地域振興事業を支援するとともに、（仮称）にぎわい広場整備事業を実施し、木下駅周辺地域の活性化を促進してまいります。

また、ハローワーク等の関係機関と連携するとともに、就労支援サイトなどにより、中高年、女性、若年者、障がいのある人など、幅広い層への求人情報の提供や相談、セミナー等の充実を図り、市民の就労を支援してまいります。

さらに、中・小企業経営基盤の安定強化を図るため、中・小企業資金融資、創業資金及び小規模事業者経営改善資金への利子補給を実施してまいります。

次に、シティプロモーション関連事業でございますが、引き続き「イルミライ★ＩＮＺＡＩ」等のプロモーションイベントを実施し、市のＰＲ、認知度の向上を図ってまいります。併せて、効果的で有効な手法を用いて情報発信を行っていくことにより、移住・定住・交流の促進に繋げてまいります。また、現在のシティプロモーション事業に加え、市内の商工業者や農業者などと連携した地域ブランドの創出や地域資源を活用した新たな取り組みなど、さらなる市の魅力の創造を図ってまいります。

次に、政策４の「自然と都市が調和する快適で人にやさしいまちづくり」について申し上げます。

まず、市民の自然環境保全意識の高揚を図るため、自然を活用した観察会や体験学習会などを開催し、市民が自然とふれあう機会を増やしてまいります。

また、環境負荷の低減に資する循環型社会の実現を目指し、市民へのごみ減量化意識の啓発活動や小売店等との協力体制の確立を図り、ごみの減量化・資源化を促進してまいります。

さらに、道路や橋梁等につきましては、インフラの機能維持のため、計画的に修繕を実施するとともに、駅圏や地区拠点を結ぶ地域間ネットワークの充実を図るため、新設道路を整備してまいります。

次に、政策５の「市民と行政が力を合わせ持続可能なまちづくり」について申し上げます。

まず、市民主体のまちづくりを進めていく中で、市と町内会等の相互協力関係を推進するため、町内会等の設立や活動の支援及び市民活動支援事業を推進し、住民自治意識の高揚を図ってまいります。

また、電子行政の推進といたしましては、デジタル社会進展に合わせて、ＩＣＴを活用し、電子申請手続きやキャッシュレス決済の拡充など、行政手続きの利便性の向上を図ってまいります。

さらに、千葉ニュータウン中央駅圏の健康、福祉、子育て、文化、芸術等の機能を備えた複合施設といたしまして、ＰＦＩ方式を活用し、（仮称）千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の整備を進めてまいります。

以上、令和４年度の主な事業について申し上げましたが、このほかにも、第１次基本計画に掲げる施策に基づく各種事務事業を確実に実施し、計画期間内での将来都市像の実現に向け、着実なものとしてまいります。

長期間に渡る感染症対策等によりまして、社会全体に疲労感や閉塞感がございますが、

中国北京では、現在、冬季オリンピックが開催され、連日、日本人選手が活躍し、国民に勇気と感動を与えてくれております。真に市民の皆様が笑顔で安心して暮らせる日が一日でも早く訪れるよう、市といたしましても万全を期してまいります。

そして、あらゆる世代の市民の皆様が、「住んでいてよかった」、「これからもずっと住み続けたい」と実感できるまちづくりに、引き続き、市民目線をもって、全力で取り組んでまいる所存でございますので、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご支援を心からお願い申し上げまして、令和４年の施政方針といたします。